

Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 14



H29.2. 13

今月のキーワード

- ・ 学習内容と学習方法をつなぐ
- ・ 英語に慣れ親しむ環境づくり

今年度、英語教育推進委員会では、研究テーマを「小学校外国語活動と中学校外国語科の円滑な接続に向けて」とし、小・中のつながりを意識した授業の在り方について研究を進めてきました。1月18日に行われた下野市教職員全体研修会において、実際の授業映像を見ていただきましたが、改めて学習内容と学習方法（指導方法）のつながりを見直す大切さを考えさせられました。

昨年 12 月には、次期学習指導要領等の答申が出され、小学校における教科化がクローズアップされていますが、教科としての学習を経た児童を迎える中学校こそ、指導方法の見直しが求められることとなります。

今回は、小・中の授業のつながりについて確認できた内容と、各学校で実践されている英語教育について、一部紹介させていただきます。

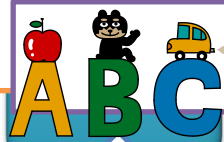
学習内容と学習方法をつなぐ

小学校で聞いたり話したりした単語や英文（例：I can play・・・）を、中学校1年生で、再び学習します。（学習内容のつながり）

ただし、中学校では正しく書くことも求められます。

小・中共通で取り組まれている内容としては、「興味関心を高める教材教具の工夫」や「英語を音声から理解するための導入の工夫」が挙げられます。（学習方法のつながり）

小学校での学習内容
学習方法



中学校での学習内容
学習方法



学習内容と学習方法の点から、小・中のつながりを確認してみましょう。
共通点をつなぎ、違う点については、小・中の英語学習のねらいの違いを踏まえた上で、児童生徒の実態に合わせた、効果的な指導法を考えていく必要があります。

まずは、各中学校地区で、共通に取り組める指導方法を1つ決めて実践していくことが、小中一貫教育を進める糸口になるのではないのでしょうか。





英語に慣れ親しむ環境づくり

今年度第2回目の英語授業参観を実施中です。先日訪問させていただいた細谷小では、業間を使って全校児童での英語活動を体育館で実施していました。外国語活動で学習した内容との関連を図りつつ、体を使って英語に慣れ親しむ有意義な時間でした。



- ① ALT の Quentin 先生と一緒に、形を表す単語 (circle/triangle/square...) を確認します。
- ② 1～6年生の縦割り班で、グループを作ります。
- ③ “Make a triangle!” 英語での指示を聞き、素早く指示された形を作ります。
- ④ 一番上手に形を作ることができたグループが勝ち！

細谷小の保健室で掲示物を発見！（北條養護教諭作成）

How are you? (ちょうしは どうですか?)
かわいらしいイラストとともに、自然に英語に触れることができる環境づくりをしています。



自分の心と体の
健康観察をして
みましょう



小学校6年生は、Lesson 7 We are friends. (桃太郎の英語劇) を学習している時期だと思います。先日訪問した国分寺東小学校の6年生は、グループで役割練習を行っていました。特に、台詞を一生懸命覚えようとしている児童の姿が印象的でした。小学校での仕上げの単元、



「英語で表現できるって楽しいな」という気持ちが中学校へつながるよう、堂々と、大きな声で、そして気持ちを込めて表現しようと頑張っている児童の姿を褒めてあげてください。

ビデオ撮影して上映会をするのもお勧めです！

文責：学校教育課 稲葉 亜希恵

